

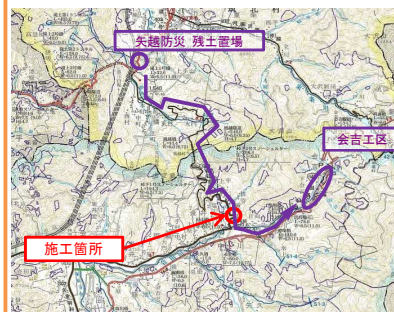
(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

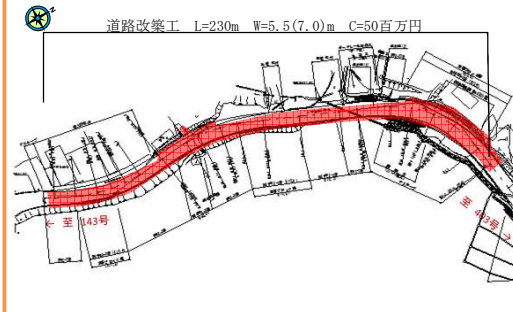
事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)会田西条(停)線			
事業毎の通番		6	市町村名	松本市	箇所名(ふりがな)	原山(はらやま)		
事業概要	事業目的	当路線は、松本市四賀会田地区と筑北村西条地区を結ぶ路線で、第2次緊急輸送路として位置付けられている重要な路線である。また、当該箇所は、道路改築事業 会吉工区の盛土材料の運搬路となっており、大型車両が多く走行している。当該区間は、幅員狭小、曲線部及び急勾配で危険であることから、この路線の安全性及び利便性向上のため、整備が必要である。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法			
	関連する事業、計画等	なし						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：1,133台/日						
	着手年度	平成29年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.1		国庫	その他	県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	・道路拡幅工 L=200m、W=5.5(7.0)m			50,000			45,000 5,000	
年度事業内容(主な工種)	・道路詳細設計L=0.2km			5,000			4,500 500	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 0.57億円 曲線部及び幅員狭小部の安全性の向上						
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興						
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量：計画交通量：1,133台/日 ○代替道路の有無：代替道路がない ○交通結節点アクセス：JR篠ノ井線 西条駅 ○生活支援・観光振興：会田病院、福寿草の里、聖高原					評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：なし ○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送路(第2次) ○地域指定：振興山村(筑北村 本城)					評価	C
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.14 ○事業期間：3年間(H29~H31) ○工法等の比較検討：盛土法面構造の検討 ○他事業との連携：道路改築事業「(国)403号 矢越防災」、「(国)143号 会吉」					評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数：なし ○道路環境改善：幅員狭小、曲線部及び急勾配で危険なため、局所的に安全性が向上 ○歩道整備：なし ○現況の幅員、半径、勾配：幅員5.5m、最小半径70m、最急勾配8%					評価	C
	計画熟度	○事業情報の共有：H27.7 地元説明会で関係者を中心に周知 ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある(松本市及び地元地区から要望がある) ○地域の合意形成：合意形成が図られている(H27.11 地権者と現地立会、確認済み) ○住民との協働：なし					評価	B
	部意見	事業の必要性、効率性が高いため、平成29年度から事業化したい。	行政改革課意見	現道は第2次緊急輸送路に指定されているが幅員が狭く、急勾配、線形不良で、円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性が認められる。	評価結果	○	総合評価	B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



平面図



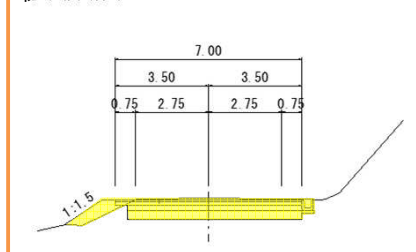
事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】

現道状況



標準横断面図



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、松本市四賀会田地区と筑北村西条地区を結ぶ路線で、第2次緊急輸送路として位置付けられている重要な路線である。また、当該箇所は、道路改築事業 会吉工区の盛土材運搬路となっており、大型車両が多く走行している。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当該区間は、幅員狭小、曲線部及び急勾配で危険である。このため、地域住民から本路線の利便性及び安全性の向上を要望されている。
③事業説明等の経緯	H27.11 地権者との現地立会を実施、事業について了解を得るとともに早期着手を求められた。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	本事業は、道路改築事業会吉工区の盛土材運搬路となっているため、当該路線の安全性及び利便性の確保について、これらの事業と並行して事業進捗を図る必要がある。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・路肩部の法面は土羽構造とし、緑化を図る。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、安全な通行が確保されることにより周辺観光地の活性化も期待される。
⑦その他	盛土法面構造の検討によりコスト縮減に努める。

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 138度1分40.64秒
東経:E 36度21分37.37秒